

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成30年12月20日(2018.12.20)

【公開番号】特開2017-145925(P2017-145925A)

【公開日】平成29年8月24日(2017.8.24)

【年通号数】公開・登録公報2017-032

【出願番号】特願2016-29400(P2016-29400)

【国際特許分類】

F 16 K 7/12 (2006.01)

【F I】

F 16 K 7/12 B

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月8日(2018.11.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

ダイヤフラムバルブであって、

第1の流路の開口部と、前記開口部の周囲を囲む位置に形成されている第1の当接面と、前記第1の当接面の周囲を囲む位置に形成されている環状凹部とが形成されている第1のバルブハウジングと、

前記第1の当接面に対向する第2の当接面と、前記第2の当接面を囲む位置に形成されている封止部とが形成されているダイヤフラムと、

前記ダイヤフラムに対して前記第1の当接面とは反対側に配置され、前記反対側から前記ダイヤフラムを押圧することによって前記第2の当接面を前記第1の当接面に当接させて前記開口部を閉鎖する駆動部材と、

前記駆動部材を押圧する方向に移動可能に保持し、前記封止部を前記第1のバルブハウジングとの間に挟持することによって、前記開口部と連通可能な流路空間を封止する第2のバルブハウジングと、

を備え、

前記ダイヤフラムは、前記第2の当接面と前記封止部とを連結し、前記第2の当接面が前記封止部に対して前記第1のバルブハウジング側に移動できるように弾性変形する弾性連結部を有し、

前記弾性連結部は、前記第2のバルブハウジング側に凹となる曲面形状を有する凹曲面を有し、

前記第2のバルブハウジングは、前記凹曲面に対向する位置において前記弾性連結部側に凸となる曲面形状を有する第2の凸曲面を有する支持部を有するダイヤフラムバルブ。